草津市市民まちづくり提案事業協働事業評価シート(行政)

■協働事業概要

伽爾子不屬文			
事業名	障害者とその家族の孤立化防止のための実態調査と孤立化防止の取り組み事業		
市担当課	健康福祉部障害福祉課		
団 体	特定非営利活動法人 草津手をつなぐ育成会		
事業内容	孤立が懸念される障害者世帯の訪問と実態調査。調査結果の集約、分析および調査結果報告、提案書の作成および報告会開催。協力者や地域支援者への学習活動。		
実施形態	協働委託 / 協働協定 / 協力 (※当てはまるものに○をしてください。)		
実施(契約)期間	平成26年4月1日~ 平成27年3月31日 【 継続事業 · 新規事業 】		
予算額	500,000円		
訪問活動:特に孤立が懸念される家庭15件程度を訪問し、調査書にまとめた。 分析活動:メンタルヘルスに着目した草津版のチェックリストを作成した。 提案活動:回避対策を立案、報告書を作成、報告会実施。NHK、新聞報道あり。 学習活動:地域住民への障害者家族理解の学習会(参加者:のべおよそ300人)。			

■プロセス評価

評価・・・1:よくできた 2:ある程度できた 3:あまりできなかった 4:できなかった 5:該当しない 「5」を選択された場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。			評価欄
	1	事業の成果目標は達成できましたか。	2
事業	2	協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1
成	3	協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしましたか。	2
果やカ	4	事業の結果(成果)などを広く情報提供をしましたか。(予定がある場合も含む)	1
波及効	5	市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参加機会が広がりましたか。	1
果	6	経費の見積もりは適切でしたか。	2
	7	トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われましたか。	2

「5:該当しない」を選択された場合は、その理由を記入してください。

番号	理	由	

■成果と課題点

協働することで成果があった点	課題点
	①サンプル調査であり、当事者の全体像が判明していない。
訪問活動:特に孤立が懸念される家庭15件程度を訪問し、調査書にまとめた。	H27年度以降も調査継続していく必要がある。
分析活動:メンタルヘルスに着目した草津版のチェックリストを作成した。	②二度と悲劇を起こさないためにはどのような施策を打つべ
提案活動:回避対策を立案、報告書を作成、報告会実施。NHK、新聞報道あり。	きか、全市を挙げての議論が必要である。
学習活動:地域住民への障害者家族理解の学習会(参加者:のべおよそ300	③定期的・継続的にこの問題を捕捉・支援していく仕組みを
人)。	構築する必要がある。
	④人材・資金面での仕組みづくりを進めるべき。

草津市市民まちづくり提案事業協働事業評価シート(NPO)

■プロセス評価

評価・・・1:よくできた 2:ある程度できた 3:あまりできなかった 4:できなかった 5:該当しない 「5」を選択された場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。			評価欄
	1	事業の成果目標は達成できましたか。	2
事業	2	協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1
成	3	協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしましたか。	2
果やは	4	事業の結果(成果)などを広く情報提供をしましたか。(予定がある場合も含む)	1
波及な	5	市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参加機会が広がりましたか。	1
効 果	6	経費の見積もりは適切でしたか。	3
	7	トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われましたか。	2

「5:該当しない」を選択された場合は、その理由を記入してください。

番号	理	由	

■成果と課題点

協働することで成果があった点	課題点
	①サンプル調査であり、当事者の全体像が判明していない。
訪問活動:特に孤立が懸念される家庭15件程度を訪問し、調査書にまとめた。	H27年度以降も調査継続していく必要がある。
分析活動:メンタルヘルスに着目した草津版のチェックリストを作成した。	②二度と悲劇を起こさないためにはどのような施策を打つべ
提案活動:回避対策を立案、報告書を作成、報告会実施。NHK、新聞報道あり。	きか、全市を挙げての議論が必要である。
学習活動:地域住民への障がい者家族理解の学習会(参加者:のべおよそ300	③定期的・継続的にこの問題を捕捉・支援していく仕組みを
人)。	構築する必要がある。
	④人材・資金面での仕組みづくりを進めるべき。